

第28回 全日本民医連

神経・リハビリテーション研究会 in 大阪 2018

第2弾

研究会テーマ『いのち・くらしまるごとケア～医療と介護の架け橋へ～』
記念講演講師が決定！！

第28回神経・リハビリテーション研究会 in 大阪のテーマは、
『いのち・くらしまるごとケア～医療と介護の架け橋へ～』に決定しました。
シンポジウムでは、地域で暮らす中で、実際に行われている包括ケアの実態とそこへ介入していく
民医連の取り組み、理想を皆さんと考え、議論できればと考えています。

記念講演講師



大井 通正 (医療生協八尾クリニック所長)

- リハビリテーション医学会認定リハビリテーション科専門医
- 身体障害者福祉法指定医
- 難病指定医
- 脳神経内科

「在宅療養支援診療所」として往診、訪問看護、訪問リハなど多くの患者様の在宅療養を支援。特に地域の病院との医療連携を重視し、疾患の診断と治療を迅速に進めている。

著書:『患者と家族に寄りそう在宅医療日記』

『脳卒中リハビリテーション—早期リハからケアマネジメントまで』



山田 剛

- 1991年 作業療法士免許を取得
(日本作業療法士協会 会員番号 4745)
- 91年～98年 ボバース記念病院
- 98年～2004年 (法人内異動) 老人保健施設 グリーンライフ
- 04年～13年 千里津雲台訪問看護ステーション
- 2014年～ フリーランス作業療法士となる

訪問看護ステーション3か所、大阪河崎リハビリテーション大学 (非常勤講師)

箕面学園福祉保育専門学校作業療法学科 (非常勤講師)、豊中市保健センター (非常勤)
大阪府豊能郡豊能町 (地域ケア会議)

常勤職場はなく非常勤掛け持ちで勤務し、その一方で、リハビリ病院、老人保健施設、
訪問看護ステーションでの勤務の経験を活かしながら、地域リハビリテーションや多職種
連携、新人から若手セラピスト向けの研修会などを開催している。